別紙－３ ㉕ -1

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

（検査職員）

考査項目	工種	a	a’	b	b’	c	d	e
3　出来形及び出来ばえ Ⅱ 品質	上水道管布設工事	・　品質関係の試験結果が規格値，試験基準を満足しばらつきが少ない ・　【「給水装置工事施行指針、配水管・給水本管工事施工基準」及び「土木工事施工管理基準」等の試験項目、測定基準及び規格値その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙－４参照。				・　品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、ａ及びｂに該当しない。	・　品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 □　監督員が文書で改善指示を行った。 □　約款第32条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記いずれか該当あれば……ｄ	・　品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 □　約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 □　検査職員が文書で修補指示を行った。 上記いずれか該当あれば……ｅ

［評価対象項目］

共通

□ 使用材料は、使用材料承認願で局承認品と確認できる。
□ 水圧テストの合格は、水圧試験写真で確認できる
□ 使用管種は、資料等により確認できる。
□ 溶接継手合否は資料等により確認できる。
□ ポリエチレンスリーブ被覆工及び管表示を適正に施工している。
□ ロケーターワイヤーを適正に施工している。
□ 防食工及び絶縁処理工を適切に施工している
□ 管材料は布設まで保管管理が適切であることが確認できる。
□ コンクリート構造物工事の品質を満足している。
□ 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。

開削工事

□ 掘削面以下を乱さないように施工している。
□ 施工基面が平滑に仕上げられている。
□ 埋め戻し，締固めを適切な条件で施工している。

推進工事

□ 立坑部の掘削面以下を乱さないように施工している。
□ 施工基面が平滑に仕上げられている。
□ 埋め戻し，締固めを適切な条件で施工している
□ 管路接合部の処理・強度・水密性が適切である。
□ 滑材，裏込材が確実に施工されていることが確認できる
□ 推進補助工法が適切に施工されていることが確認できる

シールド工事

□ 立坑部の掘削面以下を乱さないように施工している。
□ 施工基面が平滑に仕上げられている
□ 埋め戻し，締固めを適切な条件で施工している。
□ セグメント接合部の処理・強度・水密性が適切である。
□ 滑材，裏込材が確実に施工されていることが確認できる。
□ 推進補助工法が適切に施工されていることが確認できる。

●判断基準(品質)

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超え	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c

$$評価値＝\frac{評価する項目数}{評価対象項目数}\times 100＝\quad\%$$

別紙－３(31)

（検査職員）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
３　出来形及び出来ばえ	上水道管布設工事	・　仕上げがきめ細かく，全体的に美観が良い。		・　他の事項に該当しない。	・　仕上げが悪く，全体的に美観が悪い。	

Ⅲ　出来ばえ

□ 各種弁室の据付が適切に施工されている。
□ 各種弁室の据付高さが適切で違和感がない。
□ コンクリート構造物は、きめ細やかな施工がされている。
□ 資料から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
□ 舗装復旧等が現地状況を十分把握して施工されており、既設部分との取り合いがよい。
□ 全体的な美観が良い。

※該当６項目以上……a
該当４項目以上……b
該当３項目以上……c
該当２項目以下……d

評価項目数	評　価